

奉協
仕力勤誠
勉実

創立53年



秩父地域唯一の商業高校

埼玉県立 皆野高等学校

minano high school

HPアドレス <http://www.minano-h.spec.ed.jp> TEL 0494-62-2076

5月2日（水）に離任式が行われました。

最後に「大きな声の校歌」で締めくくられた素晴らしい式でした。



この春の人事異動で、本校から新たな活躍の場に飛翔された多くの先生においでいただきました。よく、離任式は、教師としてその学校で行う「最後の授業」と言われます。今回の離任式ほどそのことを強く感じたことはありません。ご来校いただいたそれぞれの先生が、各々に皆野高校への「熱く強い思い」を語られ、生徒や学校の素晴らしさを褒め、そして大いなる期待を寄せてくださいました。校長としてこれほど嬉しいことはなく、同時に、この思いを引き継ごうという決意を新たにしました式でした。ここでは、前校長先生からのお話のうち、一部の内容をお伝えします。

ただし、お話になった話そのものではなく、内容を校長がまとめたものです。

「(昨年度みなさんは校歌を实によく歌ってくれました。) この後、校歌を歌っていただけるということです。とても楽しみにしています。校歌は、年代をつなぐものです。同じ学校の卒業生であれば、年齢が違って同じように歌うことができ、同じように母校に思いを寄せることができます。伝統を重ねるものです。

皆野高校、こんな良い学校はないです。1年生の皆さんは、一日も早く真の皆野高校生になってください。」
「先ほど、(昨年度の) 校長講話の中でおとぎ話を使ってわかりやすく話をしていたとおっしゃっていただきました。今日もお話を用意してきました。一寸法師のお話をします。(おとぎ話の概要(略)) このお話の中で、大切なことのうちの一つは『強く願えば、叶う』ということです。また、一寸法師は、旅立つときに針を刀に、わらを刀のさやとして身に着けて旅立ちました。そして、刀を大いに使って鬼退治を成し遂げ、幸せに暮らすことになったわけですが、皆さんにとっての刀となるものは何でしょうか。皆野高校生として、先生方から多くのことを学ぶこと、それが、皆さんにとっての刀になると思います。」

「(皆さんにお伝えしたいことが、もう一つあります。) 自分で何かをしようとする人を、周囲の人は助けてくれます。皆さんには、助けてあげてもいいと思われる人になって欲しいと思います。同時に、人を助けてあげる人にもなってもらいたいと思います。」

「(まとめとして) 今の自分を少しだけ乗り越えようとする人、必ずいいことがあります。皆高は努力することの良さを教えてくれる学校です。」

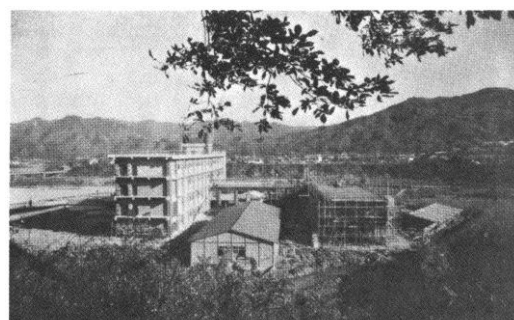
離任式の最後に、校歌斉唱が行われました。1年生も実に大きな声で立派に歌ってくれました。素晴らしいことです。壇上に並んで時に目をつぶり、感慨深く歌声を聴いていらした、離任なさった先生方の表情が印象深い、素晴らしい離任式でした。これも、生徒の皆さんの力や「気持ち」があったればこそと思います。



5月15日（火）

53回目の開校記念日を迎えました。

50年を超える伝統を誇りとして、新しい時代に果敢にチャレンジしていきたいと思います。秩父地域唯一の総合ビジネススクールとして、校訓「誠実 勤勉 協力 奉仕」を道しるべとしてこれからも進化し続けます。生徒の皆さんにも一層の奮励を期待します。



建設中の産振棟 (昭和46年)

【右記写真は創立20周年記念誌より】